



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター Nara IDSC
 （奈良県保健環境研究センター内）



● 今週の概要

- 今週の感染症情報
- 流行感染症情報：感染性胃腸炎
- 全数把握対象感染症発生状況（平成 24 年 11 月） New
- 月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（11 月） New
- 病原体（ウイルス）検出情報（11 月） New



（調査週）平成 24 年 第 5 0 週 1 2 月 1 0 日（月）～1 2 月 1 6 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当り	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	10.31	→	→	→～↓	→～↓
2	水痘	1.03	→	→～↑	→	→～↓
3	RS ウイルス感染症	0.80	→	→	→	↑
4	A 群溶連菌咽頭炎	0.60	→	→～↓	→	↑
5	インフルエンザ	0.55	↑↑	↑↑	↑↑	↓

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数は290例で、前週報告の363例から減少。上位 5 疾患は、①感染性胃腸炎、②水痘、③A群溶連菌咽頭炎、④インフルエンザ、⑤RSウイルス感染症の順。インフルエンザの報告数（3→18例）は、増加。水痘の報告数（17例）は、やや増加。A群溶連菌咽頭炎の報告数（13例）は、ほぼ半減。感染性胃腸炎の報告数（215例）は、減少。RSウイルス感染症の報告数（11例）は、やや減少。インフルエンザ定点からの報告は、奈良市HC管内；1例、郡山HC管内；17例の計18例、定点当たりの報告数は0.67で、また、上位5疾患に入った。奈良市HCおよび郡山HC両管内眼科定点から、流行性角結膜炎

の報告が、各々順に1例、4例と計5例あった。また、郡山HC管内基幹定点からは、マイコプラズマ肺炎が1例（5～9歳児）報告された。（村井 記）

県北部外来状況 ノロウイルスの感染性胃腸炎の大流行は先週を頂点に減少に向かっている。症状は軽症がほとんどで、嘔吐と下痢は2日間位で軽快している。溶連菌咽頭炎と水痘がみられるが、インフルエンザはまだない。（矢追 記）

県中部地区概況 報告数は、213例から164例と減少した。上位5疾患は、感染性胃腸炎、水痘、RSウイルス感染症、インフルエンザ、A群溶連菌咽頭炎の順であった。感染性胃腸炎は、153例から111例と減少傾向であり、水痘は17例と横ばいである。インフルエンザは、6例から12例と急増し、定点当たりのインフルエンザ患者の報告数は、0.55であった。基幹定点および眼科定点からの報告はなかった。（高木 記）

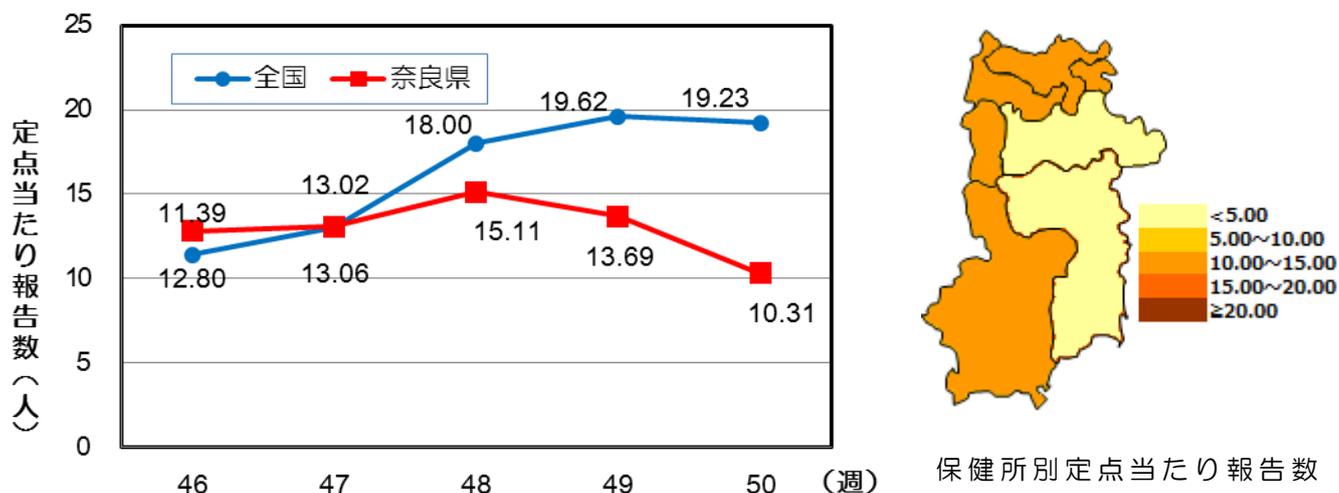
県中部外来状況 外来数は少し増加傾向であるが急増という程でない。咽頭発赤の軽度の感冒があるがインフルエンザ様例はない。RS陽性例が増加しており、3～4ヶ月児で、40度発熱、喘鳴強度、経口摂取減少の数例があり紹介入院とした。同胞の年長児でも同様症状例があり、RSと思われたが中等症状で経過した。RS検査実施可能年齢、及び機関定点報告の点が改善されなければ正しい発生動向調査と言えない状況である。感染性胃腸炎が流行、大半はノロと思われる。発熱、頭痛を伴う例もあった。血便を伴う乳児があったが、ノロ陰性で、ペロ毒素陰性の大腸菌O15, O1等が検出された。ロタはまだない。現在、感染性胃腸炎は、ノロ、ロタ、細菌性その他、症状のみからの合計報告となり、詳細に分析可能となった現在、正しい情報提供源機能として今後検討されるべき。その他水痘が流行中。（岡本 記）

県南部地区概況 報告数（第49週→第50週）は51例→48例と推移。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎（38例→35例）、②RSウイルス感染症（4例→6例）、③A群溶連菌咽頭炎（1例→2例）、③水痘（6例→2例）、⑤咽頭結膜熱（0例→1例）、⑤手足口病（0例→1例）、⑤流行性耳下腺炎（0例→1例）であった。（柳生 記）

県南部外来状況 一般外来数は横這い～やや増加程度。感染性胃腸炎が多く、第50週で再び急増した。大半がノロと思われるが、嘔吐、下痢頻回、クリーム色水様便の1才例で便迅速アデノ陽性もあった。RSウイルス感染症が2週続いて見られたが重症例はなかった。水痘が増加。アデノウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎もあり。インフルエンザ疑い例はなかった。（山本 記）

《流行感染症情報：感染性胃腸炎》

第50週の奈良県全体における定点あたり報告数は10.31（報告数361）と、2週連続で減少しました。全国値は19.23であり、先週に比べやや減少しました。



【全数把握対象感染症発生状況（平成24年11月）】

平成24年11月に奈良県内の保健所に届出のあった全数把握対象感染症は、以下のとおりです。

11月報告患者数（平成24年12月21日現在）

類型	疾患名/保健所名	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野	計
2類	結核	4	9	7	8	3		31
4類	レジオネラ症		1					1

【月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（11月）】

平成24年11月に、奈良県内の定点医療機関より保健所に届出のあった月報告対象感染症の報告数は以下の通りです。

・STD患者数（人）

疾患名\報告月	11月		前月（10月）	
	報告数	定点あたり報告数	報告数	定点あたり報告数
性器クラミジア感染症	3	0.33	9	1.00
性器ヘルペスウイルス感染症	1	0.11	4	0.44
尖圭コンジローマ	3	0.33	2	0.22
淋菌感染症	2	0.22	5	0.55

・薬剤耐性菌感染症患者数（人）

疾患名 \ 報告月	11月		前月（10月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	32	5.33	23	3.83
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	21	3.50	6	1.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0.33	1	0.17
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0

（感染症情報センター 記）

【病原体（ウイルス）検出情報（平成24年11月）】

病原体定点医療機関から保健環境研究センターウイルスチームに搬入された検体の、11月におけるウイルス検出状況は以下の通りです。

患者数（平成24年11月検出分）

検出病原体		北和	中和	南和	臨床診断名
ノロ	GⅡ	1	2	2	感染性胃腸炎(5)
アデノ	2		1		扁桃炎(1)
アデノ	40/41			2	感染性胃腸炎(2)
エコー	7		1		扁桃炎(1)
コクサッキーA群	8			2	突発性発疹(2)

（保健環境研究センター 記）

感染症情報センターホームページアドレス

http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-27874.htm

